

放課後等ディーサービス事業所における自己評価結果(公)

評議年月日:平成 3 年 3 月 26 日

公表:令和 3 年 4 月 1 日

事業所名

環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	問題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
					子どもたちに快適 にいてもらえる空間が、整備している。	子どもたちに要望を投げかけながら改善している。
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				
2	職員の配定数は適切である	○				
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	手すり等をつけている。		
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		会議でスタッフ間での話し合い。	目標設定	
5	保護者等向て評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		会議でスタッフ間での話し合い。		
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	○			
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○	○			
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズと課題を総合的に分析した上で、放課後等ディーサービス計画を作成している	○	○			
10	子どもの適応行動の状況を把握するため、標準化されたアセスメントツールを使用している	○	○			
11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	○			
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	○			
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○	○			
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディーサービス計画を作成している	○	○			
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをして、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	○			
16	支援終了時には、職員間で必ず打合せをして、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	○			
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の承認・改善につなげている	○	○			
18	定期的にミーティングを行い、放課後等ディーサービス計画の見直しの必要性を判断している	○	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○	○			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	○			
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	○			
22	医療的ケアが必要な子どもを受けられる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	○			
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	○			
24	学校を卒業し、放課後等ディーサービス事業所から児童発達支援センター等へ移行する場合、そなまでの支援内容等の情報を提供する体制を整えている	○	○			
25	児童発達支援センターや委託障害者支援センター等の専門機関に連携し、助言や研修を受けている	○	○			
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのある子どもと活動する機会がある	○	○			
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	○			
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	○			
29	保護者の向むきを図る観点から、保護者に対してアレルギー・アーニング等の支援を行っている	○	○			
30	通常規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	○			
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	○			
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	○			
33	子どもや保護者等の苦情について、応じて体制を整備するなどに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	○			
34	定期的に会報等を行し、活動要領や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	○			
35	個人情報に十分注意している	○	○			
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報交換のための配慮をしている	○	○			
37	事業所の行事に地元住民を招待する等で地域に開かれた事業運営を図っている	○	○			
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	○			
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の訓練を行っている	○	○			
40	虐待を防ぐため、職員の研修会を開催する等、適切な対応をしている	○	○			
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディーサービス計画に記載している	○	○			
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	○			
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	○			